

## 平成26年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成26年度事業計画に基づき次の通り事業を実施しました。

デイサービス事業では、センターに通所する利用者に対し、面接、電話等による相談支援、夕食、入浴等の有料サービス及び各種イベント等を実施しました。

また、地域において単身で暮らす精神障害者の生活を支援する「自立生活アシスタント事業」、精神科病院に入院している患者の方々の退院促進と退院後の生活を支援する「地域移行・地域定着支援事業」、施設利用者や施設入所者を対象に、より充実した日常生活を営めるよう支援する「計画相談事業」を実施、精神障害者の方々の自立及び社会復帰並びに社会参加の促進を図るための支援を実施しました。

### ■ 事業内容

1 開所日数 : 353日

2 登録者数 : 1,045人 (男性 637人、女性 408人)

3 来館者数 : 10,584人

4 事業実施状況

(1) デイサービス事業

ア. 日常生活支援

電話相談 3,449件、面接 1,416件、フリースペース対応 537件  
訪問・同行 94件、その他 21件

イ. 有料サービス

夕食サービス 4,788人、入浴サービス 97人、洗濯サービス 149人、  
インターネット 3人

ウ. 嘱託医相談

相談回数 33回 相談者 91人

エ. カウンセラー相談

相談回数 12回 相談者 41人

オ. グループカウンセリング

実施回数 12回 参加者 84人

カ. 自主事業

\* 定例事業

誕生会(12回:169人)、昼食会(9回:291人)、ひだまり参加(12回:2,400人)、  
利用者ミーティング(11回:95人)、コミュニケーション講座(10回:52人)、  
昼カラオケ(19回:150人)

\* その他

いたちまつり(300人)、納涼会(105人)、クリスマス会(72人)、区民まつり(8人)、  
ソフトボール大会及び練習(5回:44人)、花見(8人)、卓球大会(3回:37人)、  
水彩はがき絵教室(3回 16人)、初詣(7人)、ようこそ出会い広場(11人)  
ふれあい運動会(1人)、作業所見学会(3名)

キ. 普及啓発活動

生活支援センターに対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し説明会等を開催しました。

栄区民生児童委員定例会、栄区保健推進委員定例会、小菅ヶ谷敬老会、小菅ヶ谷地域ケアプラザ交流会、福祉の仕事懇談会、障害者週間説明会  
ハートフルサポーター研修他

ク. その他

- ・小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに出席
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実に努めました。

○登録者数 22人(相談中 6人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 上手な対人関係について(家族関係、友人関係)
- 3 規則正しい生活の維持
- 4 通院同行
- 5 服薬指導及び管理
- 6 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 公共機関の各種申請及び相談
- 10 借金返済の相談
- 11 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

生活支援センター間の連携を取りながら、病院および入院患者に対し退院に向けた不安を取り除くための普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院や相原病院の地域移行・地域定着支援事業の周知活動プログラムに参加すると共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会等を継続して行いました。

○支援者数 4名(相談中 6名)

○普及啓発活動実施病院

横浜相原病院、舞岡病院、

- (4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)  
区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用により一層充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

○総件数 8 件(特定相談件数 5件、一般相談件数 3件)

## 5 防災訓練

### \* 第1回 自衛消防訓練

平成26年8月18日(水)13:30~14:30

地域ケアプラザ1階厨房付近から出火

### \* 第2回自衛消防訓練

平成27年3月12日(木)13:30~14:30

生活支援センター調理室付近から出火

### 訓練内容

- (1) 通報、連絡訓練(非常用放送設備・複合火災受信機の確認操作)
- (2) 初期消火訓練(火災報知器・消火器・排煙装置設置場所確認及び作動確認  
初期消火訓練等)
- (3) 避難誘導訓練(非常口、避難経路の確認・2階非常口の開錠確認等)
- (4) 消火器の取り扱い実地訓練

## ■法人及び関係機関等会議 及び 行事 等

### (1) 運営連絡会

#### ◎ 第1回運営連絡会

日時 平成26年4月11日(金)15:30~17:00

場所 小菅ヶ谷地域ケアプラザ2階多目的ホール

議題 ・平成25年度事業報告及び収支決算報告(仮)について  
・平成26年度事業計画及び収支決算予算について  
・その他

出席者 17名

#### ◎ 第2回運営連絡会

日時 平成26年12月12日(金)10:30~12:00

場所 栄区生活支援センター集会室

議題 ・平成26年度上半期事業報告について  
・その他

出席者 12名

### (2) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、
- ・各種部会、
- ・総合福祉医療センター見学
- ・自立支援協議会、
- ・区福定例会、
- ・ネットワーク連絡会、
- ・災害特別避難場所連絡会
- ・自殺対策分科会、
- ・ふれあい交流事業、
- ・自殺対策キャンペーン、
- ・新年祝賀会
- ・指定管理者選定第三者評価、
- ・サービス支給決定事務説明会他

(3)区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会、・さかえ福祉フェスタ、・区社協専門機関分科会、
- ・実務者連絡会、・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会、・移動サービス連絡会、
- ・サポートセンター経運営委員会、・後見的支援事業報告会、・みちくさみち理事会、
- ・グリーンコーポ運営委員会、・スペースもも運営委員会、・精神部会、・さかえ会
- ・自立生活アシスタント連絡会、・コミュニティカフェ会議、・とんぼ報告会、
- ・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会、・障害者週間キャンペーン他

(4)市精連関係

- ・市精連理事会、・市精連総会、・市精連センター連絡会、・市精連研修会
- ・政党懇談会他

(5)法人関係

- ・法人理事会、評議員会、・研修委員会、広報委員会、・セキュリティ会議
- ・ネットワーク統一会議、・自己点検・自己評価検討会、・個別支援計画検討会他

## ■ 研修会参加

(1)外部研修

- ・支援、援助技術関係(15回)、・医療、薬関係(4回)、・メンタル、リスク関係(10回)
- ・実習指導者関係(3回)、・その他、一般関係(12回)他

(2)法人関係

- ・法人研修(11回)、・法人発表会(1回)、・センター研修(6回)他

## ■ 実習生受け入れ

(1)精神保健福祉士関係実習 : 4回 4名

(2)看護関係 : 5回 12名

(3)その他 : 5回 13名

平成26年度 栄区生活支援センター指定管理料収支決算書

(全体合計分)

自平成26年 4月 1日

至平成27年 3月31日

(単位 円)

科目		予算額	決算額	差 額	備 考
I 収入の部					
	1 指定管理料 収入	65,163,000	65,163,000	0	
A	2 利用料収入(給付費)			0	
	3 地域相談支援及び計画相談支援に要した交通費収入			0	
II 支出の部					
戻入精算B	1 人件費	52,738,000	48,516,170	4,221,830	
	所長				
	常勤職員				5名
	非常勤職員	9,647,000	7,520,033	2,126,967	4名
	アルバイト	2,479,000	1,703,611	775,389	1名
	調理アルバイト	3,000,000	3,250,162	△ 250,162	5名
	嘱託医賃金	802,000	796,288	5,712	3名
	法定福利費	6,120,000	5,192,262	927,738	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	744,000	768,180	△ 24,180	中退金
	福利厚生費	139,000	84,605	54,395	健康診断他
	労務厚生費	66,000	53,500	12,500	ハマフレンド
2 施設管理費	5,385,000	6,142,131	△ 757,131		
光熱水費	3,175,000	3,519,066	△ 344,066	電気、ガス、水道料金	
庁舎管理費	2,000,000	2,372,331	△ 372,331	建物管理費、清掃他	
修繕積立金	300,000	300,000	0	大規模修繕積立金	
利用者負担金充当金	△ 90,000	△ 49,266	△ 40,734	入浴、洗濯、印刷等有料サービス	
3 運営費	3,980,000	5,859,017	△ 1,879,017		
旅費	450,000	396,450	53,550	出張旅費	
消耗品費	400,000	753,472	△ 353,472	事務用品、日用品他	
印刷製本費	250,000	228,956	21,044	コピー代、インク代	
修繕費	500,000	748,428	△ 248,428	可動壁、エアコン他	
通信運搬費	550,000	772,107	△ 222,107	電話、ネット回線、CATV他	
賃借料	830,000	921,448	△ 91,448	車両、コピー機、ビジネスフォン他リース	
備品等購入費	350,000	629,730	△ 279,730	パソコン、冷蔵庫、洗濯機他	
保険料	100,000	97,880	2,120	施設賠償責任保険	
雑費	550,000	1,310,546	△ 760,546	研修費、報償費他	
4 本部繰入金	3,060,000	2,940,000	120,000		
支出合計		65,163,000	63,457,318	1,705,682	
III 戻入精算					
A 利用料収入合計の15%				0	
B 人件費戻入精算分				4221830	
戻入合計				4221830	

## 平成27年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成27年度事業計画に基づき次の通り事業を実施しました。

デイサービス事業では、センターに通所する利用者に対し、面接、電話等による相談支援、夕食、入浴等の有料サービス及び各種イベント等を実施しました。

また、地域において単身で暮らす精神障害者の生活を支援する「自立生活アシスタント事業」、精神科病院に入院している患者の方々の退院促進と退院後の生活を支援する「地域移行・地域定着支援事業」、施設利用者や施設入所者を対象に、より充実した日常生活を営めるよう支援する「計画相談事業」を実施、精神障害者の方々の自立及び社会復帰並びに社会参加の促進を図るための支援を実施しました。

地域で抱えているひきこもりの問題に、行政・家族会・関係機関と連携し「みんなちがってつながる輪」の講演会を開催した。

### ■ 事業内容

1 開所日数 : 354 日

2 登録者数 : 1,035 人 (男性 621 人、女性 414 人)

3 来館者数 : 10,702 人

4 事業実施状況

(1) デイサービス事業

ア. 日常生活支援

電話相談 3,169 件、面接 1,170 件、フリースペース対応 753 件

訪問・同行 59 件、その他 31 件

イ. 有料サービス

夕食サービス 4,741 人、入浴サービス 168 人、洗濯サービス 142 人、

インターネット 33 人

ウ. 嘱託医相談

相談回数 24 回 相談者 83 人

エ. カウンセラー相談

相談回数 22 回 相談者 58 人

オ. グループカウンセリング

実施回数 12 回 参加者 73 人

カ. 自主事業

\* 定例事業

誕生会(12回:207人)、昼食会(9回:249人)、ひだまり参加(12回:2,400人)、

利用者ミーティング(12回:91人)、コミュニケーション講座(10回:53人)、

昼カラオケ(23回:162人)、ピアミーティング(11回:54人)、

\* その他

いたちまつり(600人)、納涼会(150人)、クリスマス会(66人)、区民まつり(18人)、

ソフトボール大会及び練習(5回:44人)、花見(8人)、卓球大会(2回:19人)、

水彩はがき絵教室(4回22人)、初詣(7人)、ようこそ出会い広場(9人)

ふれあい運動会(3人)、ゲーム大会(12人)、姫の会(2回:6人)

キ. 普及啓発活動

生活支援センターに対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し説明会等を開催しました。

栄区民生児童委員定例会、栄区保健推進委員定例会、小菅ヶ谷敬老会、小菅ヶ谷地域ケアプラザ交流会、福祉の仕事懇談会、障害者週間説明会  
ハートフルサポーター研修、あーすぷらざ職員研修会、小中学校長会他

ク. その他

- ・ひきこもり講演会「みんなちがってつながる輪」の開催(120人)
- ・小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに出席
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加
- ・県西地域の精神保健を考える会にて講演を実施

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

○登録者数 25人(相談中 3人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 上手な対人関係について(家族関係、友人関係)
- 3 規則正しい生活の維持
- 4 通院同行
- 5 服薬指導及び管理
- 6 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 公共機関の各種申請及び相談
- 10 借金返済の相談
- 11 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

生活支援センター間の連携を取りながら、病院および入院患者に対し退院に向けた不安を取り除くための普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院や相原病院の地域移行・地域定着支援事業の周知活動プログラムに参加すると共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会等を継続して行いました。

- 支援者数 11名(相談中 0名)
- 普及啓発活動実施病院  
横浜相原病院、舞岡病院、
- (4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)  
区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用により一層充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。
- 総件数 10件(特定相談件数 6件、一般相談件数 4件)

## 5 防災訓練

- \* 第1回 自衛消防(防災)訓練  
平成27年7月16日(木)13:30~14:30  
地域ケアプラザ1階厨房付近から出火
- \* 第2回自衛消防訓練  
平成28年2月8日(月)14:00~15:30  
関東地方に震度6の地震発生

### 訓練内容

- (1) 通報、連絡訓練(非常用放送設備・複合火災受信機の確認操作)
- (2) 初期消火訓練(火災報知器・消火器・排煙装置設置場所確認及び作動確認  
初期消火訓練等)
- (3) 避難誘導訓練(非常口、避難経路の確認・2階非常口の開錠確認等)
- (4) 消火器の取り扱い実地訓練
- (5) 災害備蓄品の取扱い、炊き出し訓練

## ■法人及び関係機関等会議 及び 行事 等

### (1) 運営連絡会

- ◎ 第1回運営連絡会  
日 時 平成27年4月10日(金)10:30~12:00  
場 所 栄区生活支援センター集会室  
議 題 ・平成26年度事業報告、平成27年度事業計画について  
・その他  
出席者 12名

### (2) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、・各種部会、・総合福祉医療センター見学
- ・自立支援協議会、・区福定例会、・ネットワーク連絡会、・災害特別避難場所連絡会
- ・自殺対策分科会、・ふれあい交流事業、・自殺対策キャンペーン、・新年祝賀会
- ・指定管理者選定第三者評価、・防災講演会、こころの相談電話連絡会他

### (3) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会、・さかえ福祉フェスタ、・区社協専門機関分科会、
- ・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会、・移動情報センター推進会議、

- ・サポートセンター経運営委員会、・後見的支援事業報告会、・みちくさみち理事会、
- ・こだちの会運営委員会、・スペースもも運営委員会、・小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員
- 会、・精神部会、・さかえ会、・自立生活アシスタント連絡会、・とんぼ報告会、
- ・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会、・障害者週間キャンペーン他

(4)市精連関係

- ・市精連理事会、・市精連総会、・市精連センター連絡会、・市精連研修会
- ・政党懇談会、・センターあり方検討会他

(5)法人関係

- ・法人理事会、評議員会、・研修委員会、広報委員会、・セキュリティ会議
- ・ネットワーク統一会議、・自己点検・自己評価検討会、・個別支援計画検討会他

## ■ 研修会参加

(1)外部研修

- ・支援、援助技術関係(14回)、・医療、薬関係(3回)、・災害関係(7回)、
- ・メンタル、リスク関係(10回)、・その他、一般関係(17回)他

(2)法人関係

- ・法人研修(13回)、・法人発表会(1回)、・センター研修(5回)他

## ■ 実習生受け入れ

(1)精神保健福祉士関係実習 : 2回 3名

(2)看護関係 : 4回 9名

(3)その他 : 2回 6名

平成27年度 栄 区生活支援センター指定管理料収支決算書

(全体合計分)

自平成27年 4月 1日

至平成28年 3月31日

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差 額	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 指定管理料 収入	65,385,000	65,385,000	0	
A 2 利用料収入(給付費)		926,293	△ 926,293	
3 地域相談支援及び計画 相談支援に要した交通費収入			0	
収入合計	65,385,000	66,311,293	△ 926,293	
<b>II 支出の部</b>				
1 人件費	51,595,000	51,442,936	152,064	
所長				
常勤職員				5名
非常勤職員	8,578,000	8,560,162	17,838	4名
アルバイト	2,263,000	2,209,975	53,025	2名
調理アルバイト	2,785,000	3,220,230	△ 435,230	5名
嘱託医賃金	802,000	657,072	144,928	2名+カウンセラー1名
法定福利費	5,859,000	5,753,387	105,613	健康保険、厚生年金他
退職金給与引当金	816,000	890,040	△ 74,040	中退金
福利厚生費	139,000	112,221	26,779	健康診断他
労務厚生費	60,000	53,500	6,500	ハマフレンド
2 施設管理費	6,030,000	5,729,047	300,953	
光熱水費	3,685,000	2,803,705	881,295	電気、ガス、水道
庁舎管理費	2,135,000	3,012,492	△ 877,492	建物管理費、清掃費他
修繕積立金	300,000	0	300,000	大規模修繕積立金
利用者負担金充当金	△ 90,000	△ 87,150	△ 2,850	入浴、洗濯、印刷等
3 運営費	4,700,000	8,338,814	△ 3,638,814	
旅費	450,000	395,710	54,290	出張旅費
消耗品費	500,000	711,801	△ 211,801	事務用品、日用品他
印刷製本費	250,000	180,438	69,562	コピー代、インク代
修繕費	500,000	1,969,056	△ 1,469,056	給湯器交換、避難路舗装工事
通信運搬費	700,000	1,204,981	△ 504,981	談話、ネット、郵便代他
賃借料	1,150,000	1,312,748	△ 162,748	車両、コピー機、PC、電話他
備品等購入費	400,000	211,894	188,106	TV、ポット他
保険料	100,000	97,610	2,390	施設賠償責任保険
雑費	650,000	2,254,576	△ 1,604,576	研修費、報償費他
4 本部繰入金	3,060,000	2,940,000	120,000	
支出合計	65,385,000	68,450,797	△ 3,065,797	
<b>III 戻入精算</b>				
A 利用料収入合計の15%			138943	
B 人件費戻入精算分			0	修繕費へ振替のため
戻入合計			138943	

戻入精算 B

## 平成28年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成28年度事業計画に基づき、通所者を対象にしたセンター本体事業及び、精神障害者の方々が地域で自立して生活を営めるよう支援する「自立生活アシスタント事業」、退院促進と退院後地域で安心して暮らせるよう支援する「地域移行・地域定着支援事業」、施設利用者や施設入所者がより充実した日常生活を営めるよう支援する「計画相談事業」を実施すると共に、地域で抱えている課題に、行政・家族会・関係機関と連携して事業運営を行いました。

### ■ 事業内容

- 1 開所日数 : 352 日
- 2 登録者数 : 1,080 人 (男性 654 人、女性 426 人)
- 3 来館者数 : 11,119 人
- 4 事業実施状況
  - (1) デイサービス事業
    - ア. 日常生活支援  
電話相談 4,164 件、面接 1,595 件、フリースペース対応 1,407 件  
訪問・同行 28 件、その他 59 件
    - イ. 有料サービス  
夕食サービス 3,378 人、入浴サービス 216 人、洗濯サービス 128 人、  
インターネット 136 人
    - ウ. 嘱託医相談  
相談回数 34 回 相談者 119 人
    - エ. カウンセラー相談  
相談回数 22 回 相談者 63 人
    - オ. グループカウンセリング  
実施回数 12 回 参加者 92 人
    - カ. 自主事業
      - \* 定例事業  
誕生会(12回:240人)、昼食会(10回:255人)、ひだまり参加(12回:2,400人)、  
利用者ミーティング(12回:105人)、コミュニケーション講座(10回:103人)、  
昼カラオケ(23回:155人)、ピアミーティング(10回:67人)、
      - \* その他  
いたちまつり(600人)、納涼会(200人)、クリスマス会(66人)、区民まつり(17人)、  
ソフトボール大会及び練習(6回:99人)、花見(9人)、卓球大会(2回:18人)、  
水彩はがき絵教室(4回 26人)、初詣(16人)、ようこそ出会い広場(8人)  
ふれあい運動会(3人)、
    - キ. 普及啓発活動  
生活支援センターに対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し説明会等  
を開催しました。  
小菅ヶ谷ケアプラザ勉強会、中野ケアプラザ勉強会、桂台ケアプラザ講演会、

小菅ヶ谷地区民生委員交流会、小菅ヶ谷地域ケアプラザ交流会、福祉人材センター  
就活セミナー、障害者週間説明会、ハートフルサポーター研修、小中学校長会他

#### ク. その他

- ・ひきこもり講演会「みんなちがってつながる輪 2」の開催(200人)
- ・ひきこもり対策について、月一の会他関係機関との検討会及び香料迂回を実施
- ・栄区制30周年イベント、小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに参加
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加

#### (2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、利用者及び関係機関と相談の上、他区への委譲及び契約終了としセンター本体事業対応とした。

○登録者数 22名→9人(相談中 6人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 衣食住及び消費生活支援
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理
- 5 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 その他日常生活における問題の相談

#### (3) 地域移行・地域定着支援事業

国事業の地域移行・地域定着支援事業の該当者は現在なく、横浜市事業の退院サポート事業を進めており、生活支援センター間の連携を取りながら、病院および入院患者に対し退院に向けた普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院の OT プログラム(かたつむり)に利用者と共に参加し、啓発活動をすると共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会等を継続して行いました。

○支援者数 5名(相談中 2名)

○普及啓発活動実施病院

横浜相原病院、舞岡病院、

- (4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)  
区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

○総件数 6 件(特定相談件数 6 件)

## 5 防災訓練

\* 第1回 自衛消防(防災)訓練

平成28年7月14日(木)14:00~15:00

地域ケアプラザ1階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

\* 第2回自衛消防訓練

平成29年3月11日(土)14:00~15:30

生活支援センター2階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

\* 特別避難場所開設訓練

平成29年2月13日(月)18:00~19:00

横浜市で震度5強の地震発生を想定し、開設訓練を実施

## ■法人及び関係機関等会議及び行事 等

(1)運営連絡会 : 平成28年5月27日(金)10:30~12:00

(2)横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、・各種部会 ・総合福祉医療センター見学
- ・自立支援協議会、精神部会、相談支援部会 ・区福定例会 ・ネットワーク連絡会
- ・災害特別避難場所連絡会 ・自殺対策分科会 ・自殺対策キャンペーン ・ふれあい交流事業 ・新年祝賀会 ・基幹定例カンファ、・栄区制30周年記念事業、
- ・各種研修会他

(3)区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会、・さかえ福祉フェスタ、・区社協専門機関分科会、
- ・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会、・移動情報センター推進会議、
- ・生活支援センター連絡会、・サポートセンター径運営委員会、・みちくさみち理事会、
- ・こだちの会運営委員会、・スペースもも運営委員会、・小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、
- ・南部若者支援連絡会、・さかえ会、・自立生活アシスタント連絡会、
- ・とんぼ報告会、・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会、・障害者週間キャンペーン他

(4)市精連関係

- ・市精連理事会、・市精連総会、・市精連センター連絡会、・市精連研修会
- ・政党懇談会、・センターあり方検討会、・相談部会シンポジウム他

(5) 法人関係

- ・法人設立20周年記念式典・パーティー、・法人理事会、評議員会、・施設長会議、
- ・研修委員会、・広報委員会、・20周年記念事業委員会他

■ 研修会参加

(1) 外部研修

- ・支援、援助技術関係(20回)、・医療、薬関係(11回)、・災害関係(2回)、
- ・メンタル、リスク関係(3回)、・その他、一般関係(14回)他

(2) 法人関係

- ・法人研修(12回)、・法人発表会(1回)、・センター研修(3回)他

■ 実習生受け入れ

(1) 精神保健福祉士関係実習 : 7名

(2) 看護関係 : 66名

(3) その他 : 8名

平成28年度 栄 区生活支援センター指定管理料収支決算書

(統括分)

自平成28年 4月 1日

至平成29年 3月31日

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差 額	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 指定管理料 収入	66,120,000	66,120,000	0	
A 2 利用料収入(給付費)	500,000	122,022	377,978	
3 地域相談支援及び計画 相談支援に要した交通費収 入			0	
収入合計	66,620,000	66,242,022	377,978	
<b>II 支出の部</b>				
1 人件費	52,258,000	48,527,779	3,730,221	
所長				
常勤職員				5名
非常勤職員	8,898,000	8,925,819	△ 27,819	4名
アルバイト	2,314,000	2,064,777	249,223	2名
調理アルバイト	2,785,000	3,317,139	△ 532,139	5名
嘱託医賃金	936,000	1,096,742	△ 160,742	嘱託医3名+カウンセラー2名
法定福利費	6,312,000	5,355,595	956,405	健康保険、厚生年金他
退職金給与引当金	918,000	834,020	83,980	中退金
福利厚生費	139,000	139,364	△ 364	健康診断他
労務厚生費	60,000	47,000	13,000	ハマフレンド
2 施設管理費	6,030,000	5,852,329	177,671	
光熱水費	3,685,000	3,214,154	470,846	電気、ガス、水道代
庁舎管理費	2,135,000	2,713,287	△ 578,287	建物管理、清掃、機械整備他
修繕積立金	300,000	0	300,000	大規模修繕積立金
利用者負担金充当金	△ 90,000	△ 75,112	△ 14,888	入浴、洗濯、印刷等
3 運営費	4,532,000	5,619,109	△ 1,087,109	
旅費	400,000	354,355	45,645	交通費
消耗品費	450,000	645,738	△ 195,738	事務用品等
印刷製本費	200,000	181,485	18,515	コピー代、インク代等
修繕費	400,000	566,654	△ 166,654	
通信運搬費	700,000	865,956	△ 165,956	電話、切手、ネット等
賃借料	1,150,000	1,309,273	△ 159,273	車両、PC、コピー機等リース代
備品等購入費	400,000	497,464	△ 97,464	
保険料	100,000	103,170	△ 3,170	社会福祉事業者総合保険
雑費	732,000	1,095,014	△ 363,014	研修費、会費他
4 本部繰入金	3,300,000	4,024,508	△ 724,508	
支出合計	66,120,000	64,023,725	2,096,275	
<b>III 戻入精算</b>				
A 利用料収入合計の15%			√18303	
B 人件費戻入精算分			3730221	
戻入合計			3748524	

戻入精算B

## 平成29年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成 29 年度事業計画に基づき、通所者を対象にしたセンター本体事業及び、精神障害者の方々が地域で自立して生活を営めるよう支援する「自立生活アシスタント事業」、退院促進と退院後地域で安心して暮らせるよう支援する「地域移行・地域定着支援事業」、施設利用者や施設入所者がより充実した日常生活を営めるよう支援する「計画相談事業」を実施すると共に、地域で抱えている課題に、行政・家族会・関係機関と連携して事業運営を行いました。

### ■ 事業内容

1 開所日数 : 352 日

2 登録者数 : 1,131 人 (男性 683 人、女性 448 人)

3 来館者数 : 10,186 人

#### 4 事業実施状況

##### (1) デイサービス事業

###### ア. 日常生活支援

電話相談 5,146 件、面接 1,318 件、フリースペース対応 1,868 件

訪問・同行 84 件、その他 2 件

###### イ. 有料サービス

夕食サービス 2,708 人、入浴サービス 238 人、洗濯サービス 119 人、

インターネット 169 人

###### ウ. 嘱託医相談

相談回数 34.回 相談者 104 人

###### エ. カウンセラー相談

相談回数 22 回 相談者 66 人

###### オ. グループカウンセリング

実施回数 12 回 参加者 95 人

###### カ. 自主事業

###### \* 定例事業

誕生会(12 回:224 人)、昼食会(10 回:278 人)、ひだまり参加(12 回:2,400 人)、

利用者ミーティング(12 回:110 人)、リカバリー講座(11 回:137 人)、

昼カラオケ(22 回:116 人)、ピアミーティング(12 回:86 人)、

###### \* その他

いたちまつり(600 人)、納涼会(250 人)、クリスマス会(52 人)、区民まつり(16 人)、

ソフトボール大会及び練習(7 回:112 人)、花見(11 人)、卓球大会(2 回:29 人)、

初詣(16 人)、ようこそ出会い広場(8 人)、就労セミナー(4 回:73 人)、姫の会(16 人)

###### キ. 普及啓発活動

生活支援センターに対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し説明会等を開催しました。

小菅ヶ谷ケアプラザ勉強会、中野ケアプラザ勉強会、桂台ケアプラザ勉強会、

小菅ヶ谷地区民生委員定例会、小菅ヶ谷地域ケアプラザ交流会、障害者週間説明会、

ハートフルサポーター研修、ぷらっと栄見学会、サマーボランティア説明会他  
ク. その他

- ・センター利用者に対し、就労移行事業所と共催で就労セミナーを4回開催
- ・ひきこもり対策について、ケアマネージャー勉強会に出席
- ・小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに参加
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加
- ・地域との連携を強化するため、センター納涼会へ地域住民を招待

#### (2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、利用者及び関係機関と相談の上、他区への委譲及び契約終了としセンター本体事業対応とした。

○登録者数 11名(相談中 2人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 衣食住及び消費生活支援
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理
- 5 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 その他日常生活における問題の相談

#### (3) 地域移行・地域定着支援事業

国事業の地域移行・地域定着支援事業の該当者は現在なく、横浜市事業の退院サポート事業を進めており、生活支援センター間の連携を取りながら、病院および入院患者に対し退院に向けた普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院の OT プログラム(かたつむり)に利用者と共に参加し、啓発活動をすると共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会等を継続して行いました。

○支援者数 4名(相談中 6名)

○普及啓発活動実施病院

横浜相原病院、舞岡病院、

#### (4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)

区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

○総件数 9 件(特定相談件数 9 件) 相談中 3件

## 5 防災訓練

\* 第1回 自衛消防(防災)訓練

平成29年7月8日(土)14:00~15:00

地域ケアプラザ1階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

\* 第2回自衛消防訓練

平成30年3月17日(土)14:00~15:30

生活支援センター2階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

\* 特別避難場所開設訓練

平成29年12月11日(月)18:00~19:00

横浜市で震度5強の地震発生を想定し、開設訓練を実施

## ■法人及び関係機関等会議及び行事 等

(1)運営連絡会 : 平成29年6月16日(金)10:30~12:00

(2)横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、・各種部会 ・セーフコミュニティ事前審査
- ・自立支援協議会、精神部会、相談支援部会、・ネットワーク連絡会
- ・災害特別避難場所連絡会 ・自殺対策分科会 ・自殺対策キャンペーン ・ふれあい交流事業 ・新年祝賀会 ・基幹定例カンファ、・各種研修会他

(3)区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会、・さかえ福祉フェスタ、・区社協専門機関分科会、
- ・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会、・移動情報センター推進会議、
- ・生活支援センター連絡会、・サポートセンター径運営委員会、・みちくさみち理事会、
- ・こだちの会運営委員会、・スペースもも運営委員会、・小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、
- ・南部若者支援連絡会、・さかえ会、・自立生活アシスタント連絡会、
- ・とんぼ報告会、・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会、・障害者週間キャンペーン他

(4)市精連関係

- ・市精連理事会、・市精連総会、・市精連センター連絡会、・市精連研修会
- ・政党懇談会、・センターあり方検討会、・相談部会シンポジウム他

(5)法人関係

- ・法人理事会、評議員会、・施設長会議、・研修委員会、・広報委員会、
- ・支援システム検討プロジェクト

■ 研修会参加

(1)外部研修

- ・支援、援助技術関係(28回)、
- ・医療、薬関係(12回)、
- ・災害関係(1回)、
- ・メンタル、リスク関係(5回)、
- ・その他、一般関係(18回)他

(2)法人関係

- ・法人研修(10回)、
- ・法人発表会(1回)、
- ・センター研修(3回)他

■実習生受け入れ

(1)精神保健福祉士関係実習 : 13名

(2)看護関係 : 57名

(3)その他 : 8名

平成29年度 栄 区生活支援センター指定管理料収支決算書

自平成29年 4月 1日 至平成30年 3月31日

(単位 円)

科目		予算額	決算額	差 額	備 考
I 収入の部					
	1 指定管理料収入	67,793,000	67,793,000	0	
	2 指定管理料収入(防犯)	298,080	298,080	0	
A	3 利用料収入(給付費)	100,000	0	100,000	
	4 地域相談支援及び計画相談支援に要した交通費収入			0	
収入合計		68,191,080	68,091,080	100,000	
II 支出の部					
戻入精算B	1 人件費	54,958,000	52,417,889	2,540,111	
	所長				
	常勤職員				常勤5名
	非常勤職員	11,676,000	8,926,108	2,749,892	非常勤4名
	アルバイト	2,741,000	1,901,114	839,886	
	調理アルバイト	3,024,000	3,119,319	△ 95,319	調理職員6名
	嘱託医賃金	935,000	994,175	△ 59,175	嘱託医3名、カウンセラー2名
	法定福利費	6,817,000	5,959,408	857,592	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	890,000	794,140	95,860	中退金
	福利厚生費	109,000	96,514	12,486	健康診断、インフルエンザ
	労務厚生費	60,000	54,500	5,500	ハマフレンド
2 施設管理費	5,510,000	4,653,874	856,126		
光熱水費	3,000,000	2,556,465	443,535	電気、ガス、水道	
庁舎管理費	2,300,000	2,152,701	147,299	建物管理、清掃他	
修繕積立金	300,000	0	300,000	大規模修繕積立	
利用者負担金充当金	△ 90,000	△ 55,292	△ 34,708		
3 運営費	4,385,000	7,368,364	△ 2,983,364		
旅費	350,000	352,950	△ 2,950	交通費	
消耗品費	450,000	734,528	△ 284,528	事務用品等	
印刷製本費	150,000	261,293	△ 111,293	パンフレット、チラシ等印刷	
修繕費	0	1,258,299	△ 1,258,299		
通信運搬費	1,200,000	1,183,383	16,617	電話、ネット、CATV等	
賃借料	1,335,000	1,921,261	△ 586,261	車両、PC、コピー機等リース料	
備品等購入費	200,000	184,160	15,840		
保険料	100,000	98,130	1,870	社会福祉事業者総合保健	
雑費	600,000	1,374,360	△ 774,360	研修費、会費、その他	
4 本部繰入金	2,940,000	2,940,000	0		
5 防犯対策費	298,080	298,080	0		
支出合計		67,793,000	67,380,127	412,873	
III 戻入精算					
A 利用料収入合計の15%				0	
B 人件費戻入精算分				2,540,111	
戻入合計				2,540,111	

## 平成30年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成30年度事業計画に基づき、利用者を対象にした「センター本体事業」、「自立生活アシスタント事業」、「地域移行・地域定着支援事業」及び「計画相談事業」を実施し、精神障害者が地域で安全に安心して生活が出来るよう支援を行いました。又、地域で抱えている課題に、行政・家族会・関係機関及び地域の方々と連携して事業運営を行いました。

### ■ 事業内容

- 1 開所日数 : 353 日
- 2 登録者数 : 1,172 人 (男性 702 人、女性 470 人)
- 3 来館者数 : 10,093 人
- 4 事業実施状況
  - (1) デイサービス事業
    - ア. 日常生活支援  
電話相談 5,271 件、面接 1,215 件、フリースペース対応 1,388 件  
訪問・同行 87 件、その他 15 件
    - イ. 有料サービス  
夕食サービス 2,826 人、入浴サービス 210 人、洗濯サービス 117 人、  
インターネット 142 人
    - ウ. 嘱託医相談  
相談回数 31 回 相談者 85 人
    - エ. カウンセラー相談  
相談回数 23 回 相談者 80 人
    - オ. グループカウンセリング  
実施回数 5 回 参加者 47 人
    - カ. 自主事業
      - \* 定例事業  
誕生会(12 回:207 人)、昼食会(10 回:252 人)、ひだまり参加(12 回:2,400 人)、  
利用者ミーティング(12 回:96 人)、リハビリ講座(12 回:77 人)、  
昼カラオケ(24 回:166 人)、ピアミーティング(12 回:86 人)、
      - \* その他  
いたちまつり(600 人)、納涼会(200 人)、合同忘年会(68 人)、区民まつり(20 人)、  
ソフトボール大会及び練習(7 回:81 人)、花見(10 人)、スポーツデー(12 人)、  
初詣(16 人)、ようこそ出会い広場(8 人)、就労移行説明会(35 人)、姫の会(47 人)
    - キ. 普及啓発活動  
生活支援センターに対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し説明会等  
を開催しました。  
小菅ヶ谷ケアプラザ勉強会、豊田ケアプラザ民生委員勉強会、桂台ケアプラザ勉強会、  
ふぁみりーさぽーと泉研修会、小菅ヶ谷地域ケアプラザ交流会、サポートネット連絡会  
本郷台駅前祭り、栄区医療連携チーム、精神医療センター職員見学会、

## ク. その他

- ・センター利用者等に対し、就労移行事業所と共催で就労移行事業所説明会を開催
- ・ひきこもり対策について、ケアマネージャー勉強会に出席
- ・小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに参加
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加
- ・地域との連携を強化するため、センター納涼会へ地域住民を招待及び本郷台駅前祭りにおいてチラシ配布等を行う。

### (2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、利用者及び関係機関と相談の上、契約終了者については、センター本体事業対応とした。

尚、自立生活アシスタント事業と自立生活援助事業の両立について、当初明確になっていなかったため、自立生活援助事業については 2019 年度からの実施とした。

○登録者数 10名(相談中 2人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 衣食住及び消費生活支援
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理
- 5 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 その他日常生活における問題の相談

### (3) 地域移行・地域定着支援事業

国事業の地域移行・地域定着支援事業の該当者は現在なく、横浜市事業の退院サポート事業を進めており、生活支援センター間の連携を取りながら、病院および入院患者に対し退院に向けた普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院の OT プログラム(かたつむり)に利用者と共に参加し、啓発活動をすると共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会・交流会等を継続して行いました。

○支援者数 4名(相談中 3名、退院後フォロー 1名)

○普及啓発活動実施病院

横浜相原病院、舞岡病院、

- (4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)  
区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

○総件数 10 件(特定相談件数 10 件) 相談中 1 件

## 5 防災訓練

### \* 第1回 自衛消防(防災)訓練

平成30年7月9日(月)14:00~15:00

地域ケアプラザ1階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

### \* 第2回自衛消防訓練

平成31年3月12日(土)14:00~15:30

生活支援センター2階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施

### \* 特別避難場所開設訓練

平成30年12月10日(月)17:30~19:00

横浜市で震度5強の地震発生を想定し、開設訓練を実施

## ■法人及び関係機関等会議及び行事等

### (1)横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、・各種部会・サポートネット会議
- ・自立支援協議会、精神部会、相談支援部会、・ネットワーク連絡会、・区民祭り
- ・福祉避難場所連絡会・自殺予防対策分科会・自殺対策キャンペーン・ふれあい交流事業・新年祝賀会・基幹定例カンファ、包括連医療連携会議・三機関合同連絡会、各種研修会他

### (2)区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会、・さかえ福祉フェスタ、・区社協専門機関分科会、
- ・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会、・移動情報センター推進会議、
- ・生活支援センター連絡会、・サポートセンター径運営委員会、・みちくさみち理事会、
- ・こだちの会運営委員会、・スペースもも運営委員会、・小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、
- ・南部若者支援連絡会、・さかえ会、・実務者連絡会、・地域ケア会議
- ・とんぼ報告会、・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会、・障害者週間キャンペーン他

### (3)市精連関係

- ・市精連理事会、・市精連総会、・市精連センター連絡会、・市精連研修会
- ・政党懇談会、・センターあり方検討会、・相談部会、・シンポジウム他

### (4)法人関係

- ・法人理事会、評議員会、
- ・施設長会議、
- ・研修委員会、
- ・広報委員会、
- ・法人発表会

#### ■ 研修会参加

##### (1) 外部研修

- ・支援、援助技術関係(22回)、
- ・医療、薬関係(10回)、
- ・災害関係(3回)、
- ・メンタル、リスク関係(3回)、
- ・その他、一般関係(15回)他

##### (2) 法人関係

- ・法人研修(10回)、
- ・法人発表会(1回)、
- ・センター研修(3回)他

#### ■ 実習生受け入れ

(1) 精神保健福祉士関係実習 : 7名

(2) 看護関係 : 50名

(3) その他 : 9名

平成30年度 栄区精神障害者生活支援センター指定管理料収支決算書  
(総括版)

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

(単位 円)

科目	予算額	決算額	差 額	備 考	
<b>I 収入の部</b>					
1 指定管理料収入	72,737,000	72,737,000	0		
2 相談支援事業に要した交通費収入	0		0		
収入合計	72,737,000	72,737,000	0		
<b>II 支出の部</b>					
1 人件費	57,977,000	56,171,288	1,805,712		
戻入精算	所長				
	常勤職員			常勤5名	
	非常勤職員	11,991,000	11,301,901	689,099	非常勤4名
	アルバイト	2,684,000	510,806	2,173,194	
	調理アルバイト	3,402,000	3,014,506	387,494	調理6名
	嘱託医賃金	1,002,000	1,030,946	▲ 28,946	嘱託医3名、カウンセラー2名
	法定福利費	6,863,000	6,687,814	175,186	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	792,000	932,120	▲ 140,120	中退金
	福利厚生費	150,000	111,815	38,185	健康診断、インフルエンザ
	労務厚生費	60,000	53,000	7,000	ハマフレンド
2 施設管理費	6,020,000	6,596,290	▲ 576,290		
光熱水費	3,200,000	3,786,295	▲ 586,295	電気、ガス、水道	
庁舎管理費	2,500,000	2,864,121	▲ 364,121	建物管理、清掃他	
修繕積立金	400,000	0	400,000	大規模修繕積立	
利用者負担金充当金	▲ 80,000	▲ 54,126	▲ 25,874		
3 運営費	5,800,000	6,695,130	▲ 895,130		
旅費	400,000	323,927	76,073	交通費	
消耗品費	500,000	677,368	▲ 177,368	事務用品他	
印刷製本費	150,000	243,427	▲ 93,427	パンフレット、チラシ等印刷費	
修繕費	500,000	1,267,110	▲ 767,110	施設修繕関係	
通信運搬費	1,550,000	967,887	582,113	電話、ネット、切手代他	
賃借料	1,700,000	2,032,069	▲ 332,069	車両、PC、コピー機他リース料	
備品等購入費	200,000	158,198	41,802		
保険料	100,000	101,250	▲ 1,250	社会福祉事業者総合保険	
雑費	700,000	923,894	▲ 223,894	研修費、会費、その他	
4 本部繰入金	2,940,000	2,940,000	0		
支出合計	72,737,000	72,402,708	334,292		
<b>III 戻入精算</b>					
人件費戻入精算分			1,805,712	✓	
戻入合計			1,805,712		

## 令和元年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

令和元年度(平成 31 年度)事業計画に基づき、利用者を対象にした「センター本体事業」、「自立生活アシスタント事業」、「地域移行・地域定着支援事業」及び「計画相談事業」を実施し、精神障害者が地域で安全に安心して生活が出来るよう支援を行いました。又、地域で抱えている課題に、行政・家族会・関係機関及び地域の方々と連携して事業運営を行いました。

令和元年7月より生活支援センター機能標準化モデル事業が行われ、開館日や開館時間の変更により利用者減などの影響が見られました。又、令和2年2月からは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、イベントの中止・縮小などにより来所者の減少がみられました。

### ■ 事業内容

- 1 開所日数 : 316 日
- 2 登録者数 : 1,218 人 (男性 731 人、女性 487 人)
- 3 来館者数 : 8,702 人

#### 4 事業実施状況

##### (1) デイサービス事業

###### ア. 日常生活支援

電話相談 4,551 件、面接 791 件、フリースペース対応 1,002 件

訪問・同行 100 件、その他 19 件

###### イ. 有料サービス

夕食サービス 2,053 人、入浴サービス 395 人、洗濯サービス 332 人、

インターネット 147 人

###### ウ. 嘱託医相談

相談回数 30 回 相談者 82 人

###### エ. カウンセラー相談

相談回数 17 回 相談者 51 人

###### オ. 自主事業

###### \* 定例事業

誕生会(11 回:163 人)、昼食会(9 回:219 人)、ひだまり参加(10 回:2,000 人)、

利用者ミーティング(11 回:84 人)、リハビリ講座(11 回:129 人)、

昼カラオケ(13 回:73 人)、おりがみ倶楽部(11 回:91 人)、

###### \* その他

いたちまつり(600 人)、納涼会(130 人)、クリスマス会(47 人)、合同新年会(50 人)、

区民まつり(20 人)、ソフトボール大会及び練習(8 回:76 人)、花見(14 人)、

スポーツデー(15 人)、初詣(16 人)、ようこそ出会い広場(中止)、薬剤師講座(12 人)、

姫の会(26 人)

###### カ. 普及啓発活動

生活支援センター及び精神障害、精神障害者に対する理解と協力を得るため、関係機関及び団体に対し勉強会、説明会等を開催しました。

区内ケアマネ勉強会(2回)、小菅ヶ谷ケアプラザ勉強会、小菅ヶ谷地区地域ケア会議、

ふぁみりーさぼーと泉研修会、ヘルパーステーション栄研修会、自立支援協議会  
横浜未来看護専門学校授業、栄区医療連携チーム、家族学習会、本郷台駅前祭り、  
栄区民祭り他

キ. その他

- ・「8050 問題」における家庭内の問題(精神障害、ひきこもり等)について、区内の  
ケアマネージャー勉強会に出席し、連携を強化した
- ・小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内  
会等のイベントに参加
- ・家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)すると共  
に、令和2年度の家族教室の共催(家族会・区役所・生活支援センター)
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域事業所の運営連絡会・協議会及びイベントに参加  
し関係機関・団体や地域との連携を強化下。又、地域住民への精神障害者理解を推  
進するため、センター納涼会へ地域住民を招待及び本郷台駅前祭りにおいてチラシ  
配布等を行う。

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の  
安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連  
携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、利用者及び関係機関と相談の上、  
契約終了者については、センター本体事業対応とした。

尚、自立生活援助事業については、区役所と連携し実施について検討しているが、今年  
度は利用者はいなかった。

○登録者数 8名(相談中 5人)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住及び消費生活支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護との連携
- 5 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)・・・ヘルパー事業所、不動産業者との  
連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

国事業の地域移行・地域定着支援事業の予定者が1名おり、令和2年度から開始予定。  
横浜市事業の退院サポート事業は、病院との連携も進んできており、病院および入院患  
者に対し退院に向けた普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源  
の紹介等)も積極的に進めました。

また、舞岡病院の OT プログラム(かたつむり)に利用者と共に参加し、啓発活動をする  
と共に病院職員及び入院患者との関係強化を図るため昼食会・交流会等を継続して行  
いました。交流会の中で、区内の事業所を招いて事業所紹介も行いました。

○支援者数 4名(相談中 2名、退院後フォロー 1名)

○普及啓発活動実施病院: 横浜相原病院、舞岡病院、栄聖仁会病院

(4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)

区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資  
源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。  
区内の計画相談事業所が終了することもあり、精神障害者の計画相談事業所が生活支  
援センターだけになることで依頼が増えてきている。

○総件数 14件(特定相談件数 14件) 相談中 8件

## 5 防災訓練

\* 第1回 自衛消防(防災)訓練

令和元年7月11日(木)14:00~15:30

- ・地域ケアプラザ1階厨房付近から出火を想定し、避難訓練を実施
- ・併せて、車いす介助訓練も実施

\* 第2回自衛消防訓練

令和元年3月9日(月)14:00~14:30

- ・生活支援センター2階喫煙室付近から出火を想定し、避難訓練を実施

\* 福祉避難所開設訓練

令和元年12月9日(月)17:00~18:30

横浜市で震度5強の地震発生を想定し、開設訓練を実施

## ■法人及び関係機関等会議及び行事等

### (1) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議 ・各種部会 ・サポートネット会議
- ・自立支援協議会、精神部会、相談支援部会 ・ネットワーク連絡会 ・区民祭り
- ・福祉避難場所連絡会 ・自殺予防対策分科会 ・自殺対策キャンペーン ・ふれあい  
交流事業 ・新年祝賀会 ・基幹定例カンファ ・三機関合同連絡会、各種研修会他

### (2) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・栄区社会福祉大会 ・さかえ福祉フェスタ ・区社協専門機関分科会、
- ・小菅ヶ谷つながるプラン全体会、分科会 ・移動情報センター推進会議、
- ・生活支援センター連絡会 ・サポートセンター運営委員会 ・みちくさみち理事会、
- ・こだちの会運営委員会 ・スペースもも運営委員会 ・小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員  
会、 ・南部若者支援連絡会 ・さかえ会 ・実務者連絡会 ・地域ケア会議

・とんぼ報告会 ・小菅ヶ谷地域敬老会、運動会 ・障害者週間キャンペーン他

(3)市精連関係

・市精連理事会 ・市精連総会 ・市精連センター連絡会 ・市精連研修会  
・政党懇談会 ・相談部会 ・シンポジウム ・研修会他

(4)法人関係

・法人理事会、評議員会 ・施設長会議 ・研修委員会 ・広報委員会  
・法人発表会

■ 研修会参加

(1)外部研修

・支援、援助技術関係(25回)、 ・医療、薬関係(11回)、 ・災害関係(6回)、  
・メンタル、リスク関係(7回)、 ・その他、一般関係(19回)他

(2)法人関係

・法人研修(9回)、 ・法人発表会(1回)、 ・センター研修(4回)他

■実習生受け入れ

(1)精神保健福祉士関係実習 : 12名

(2)看護関係 : 68名

(3)その他 : 5名

令和元年度 栄区精神障害者生活支援センター指定管理料収支決算書  
(総括版)

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
<b>I 収入の部</b>					
1 指定管理料収入(当初)	74,082,000	74,082,000		0	
2 指定管理料収入(変更)	5,243,000	5,243,000		0	
3 法人負担金				0	
4 相談支援事業に要した交通費収入				0	
収入合計	79,325,000	79,325,000		0	

<b>II 支出の部</b>						
戻入精算	1 人件費	63,988,000	58,511,306	0	5,476,694	
	所長					
	常勤職員					常勤5名
	非常勤職員	13,588,000	12,288,059		1,299,941	非常勤4名
	アルバイト					アルバイト1名
	調理アルバイト	3,475,000	2,266,007		1,208,993	調理6名
	嘱託医賃金	1,002,000	900,718		101,282	嘱託医3回/月、カウンセラー3回/月
	法定福利費	7,323,000	7,147,071		175,929	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	960,000	1,034,100		▲ 74,100	中退金
	福利厚生費	150,000	135,394		14,606	健康診断、インフルエンザ
	労務厚生費	60,000	52,500		7,500	ハマフレンド
2 施設管理費	6,140,000	5,820,079	0	319,921		
光熱水費	3,200,000	2,958,695		241,305	電気、ガス、水道	
庁舎管理費	2,500,000	2,969,701		▲ 469,701	施設管理、清掃他	
修繕積立金	500,000	0		500,000	大規模修繕積立	
利用者負担金充当金	▲ 60,000	▲ 108,317		48,317	入浴、インターネット他	
3 運営費	6,257,000	8,939,249	0	▲ 2,682,249		
旅費	400,000	342,984		57,016	旅費交通費	
消耗品費	500,000	458,541		41,459	事務用品他	
印刷製本費	200,000	223,621		▲ 23,621	パンフレット、チラシ作成他	
修繕費	1,000,000	1,997,200		▲ 997,200	エレベーター、給湯器交換、トイレ他修理	
通信運搬費	1,200,000	1,058,787		141,213	電話、ネット、切手他	
賃借料	1,700,000	1,980,258		▲ 280,258	車両、PC、コピー機他リース料	
備品等購入費	250,000	366,402		▲ 116,402		
保険料	100,000	84,810		15,190	施設賠償保険	
雑費	907,000	2,426,646		▲ 1,519,646	研修費、会費、その他	
4 本部繰入金	2,940,000	2,940,000		0		
支出合計	79,325,000	76,210,634	0	3,114,366		

<b>III 戻入の部</b>					
人件費戻入精算分		5,476,694			
戻入合計		5,476,694			